

1. 基本情報										
事務事業番号	02424	事務事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業				担当部	市民環境部		
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)				担当課	スポーツ・文化振興課			
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進				グループ	スポーツ・文化グループ			
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実				内線番号	3981			
予算科目目	会計	一般会計				事業期間	単年度のみ			
	款	10	教育費				単年度繰返(開始年度 平成16年度 ~)			
	項	06	社会教育費				期間限定複数年度(~)			
目	06	文化振興費			根拠法令・条等	特になし				
評価区分	標準評価	評価対象	2次評価		関連計画	特になし				

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>									
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)									
霧島の四季に富んだ自然風景、伝統行事、祭り、景色、産業、人々の暮らし、環境やジオパークに関するものなどを捉えた「自由部門」と、飛行機、空港で働く人々、出会い、別れなど鹿児島空港の魅力を様々な角度から捉えた「エアポート部門」の2部門で構成する写真の公募展。写真に対する関心を高めてもらうと共に、霧島の魅力を再発見し、郷土への愛着を深めてもらうことを目的とする。 応募作品撮影期間 1月～翌年1月									
【手順】 開催要項の決定 募集チラシの作成・広報 応募作品の受付 応募作品の審査 優秀作品の展示・表彰(各地区の巡回展も開催する) 出品料 = 1点目1,000円。2点目以降1点につき500円。各部門1人5点まで。(学生は無料)									

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 延べ展示日数	日	0	140	114	0
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的									
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)			
ア 市民	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370			
イ									
ウ									
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)			
ア 写真に対する関心を高めてもらう	出品点数	点	0	530	468	0			
イ 写真に対する関心を高めてもらう	出品者数	人	0	220	132	0			
ウ 写真に対する関心を高めてもらう	市内出品者数	人	0	100	61	0			

(3) 総合計画との関係									
基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)									
子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。									

3. 前年度の評価表に記載した課題									
令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 令和 3年度は隔年開催のため、事業休止。 令和 4年度は再開し、事業規模や運営方法など懸案事項を改善し事業に取り組む。									
4. 事業費の推移									
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	320	275	0	320	
		一般財源	千円	0	275	294	0	275	
		事業費	千円	0	595	569	0	595	

5. 令和 4年度の実績及び成果									
(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>					(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>				
令和 3年度より隔年開催となったが、132人から自由部門288点、エアポート部門180点の合計468点の応募があった。また、国分シビックセンター1階ギャラリーや鹿児島空港等で、114日間展示を行い、霧島の魅力を発信することができた。					2年ぶりの開催となったが、例年通りの応募があり、隔年開催でも霧島の魅力発見や郷土への愛着を深めることができた。				

事務事業 番号	02424	事務 事業名	きりしまフォトコンテスト開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		C	本事業によって長年、鑑賞者に霧島の魅力を伝えてきており、入賞作品は市が作成する資料等の素材としても活用している。しかしながら、素材写真は多く保存されており、入賞者も固定化していることから、フォトコンテストとしての一定の役割を終えたと考えられるため、廃止の検討をする必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)							
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
	維持						
	縮小						
	休廃止（統合含む）	レ					
		皆減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	令和5年度は隔年開催のため、事業休止。 次回開催は、令和6年度となるため、事業規模や運営方法など懸案事項を整理し、継続、廃止について検討する。						
(3) 令和6年度の方向性（具体的な取組）	事業の継続、廃止について、引き続き検討を行う。						

8. 2次評価結果（担当部長評価）		評価者	職・氏名	市民環境部長	有満 孝二
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
	維持			レ	
	縮小				
	休廃止（統合含む）				
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評	令和3年度より隔年開催とし、その後最初の開催であったが、以前（隔年開催前）どおりの出展状況であった。 隔年開催を続け、出展状況や市民の声を聞きながら、事業についての効果及び必要性を確認していきたい。				

1. 基本情報						
事務事業番号	02425	事務事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		グループ	スポーツ・文化グループ	
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実		内線番号	3981	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 平成16年度 ~)	
	項	06	社会教育費		期間限定複数年度(~)	
目	目	06	文化振興費	根拠法令・条例等	特になし	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

平成16年に国分市制施行50周年と舞鶴城築城400周年を記念して「国分市美術展」として初開催。平成17年は「きりしまいきいき塾」事業の一環として開催され、合併後の平成18年からは「霧島市美術展」と名称を変更し、旧霧島町で開催していた「8号洋画展」をテーマ部門として位置づけ開催した。平成22年は市制50周年記念として「こども絵画展」を同時開催し、翌23年から「こども絵画展」を「ジュニア部門」として編入した。平成25年から「全国公募」を開始、平成29年から名称を「きりしま美術大賞展」へ変更し現在に至っている。令和4年度から会期を変更して開催する。

美術展の運営については、実行委員会を組織している。

【手順】

実行委員会(開催要項決定など) ポスター・チラシ作成 広報 実行委員会(具体的な実施方法について)
 搬入(6月中旬~下旬) 審査(6月下旬) 表彰式及び展示(7月下旬) 搬出(7月下旬~8月下旬)
 巡回展(旧田中家別邸)(7~8月) 実行委員会(精算事務)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 延べ展示日数	日	27	26	26	26
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 市民	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
ア 美術に対する関心を高めてもらう	出品数	点	2,891	2,900	2,024	2,100
イ 美術に対する関心を高めてもらう	出品者数	人	2,841	2,800	1,972	2,300
ウ 美術に対する関心を高めてもらう	市内出品者数	人	2,774	2,650	1,874	2,650

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。
 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 全国公募をうたっているが県外からの応募はまだ少ない状況なので、県外の美術系高校、大学への周知広報、公募サイト等SNSを活用した情報発信に努める。
 コロナ禍での開催となるため、表彰式等密になる可能性が高いところについては徹底した対策を講じる。
 令和4年度は例年の開催時期である10月に「全国和牛能力共進会」が、令和5年度は「国民体育大会」が本市で開催されるため、開催時期を6~7月に変更して実施する。作品の保管場所や、人員の配置など開催時期変更によって考えられる影響を事前に考慮したうえで円滑に業務を進めていく。

4. 事業費の推移

事業費 投入量	事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,532	1,559	1,551	1,563
		事業費	千円	1,532	1,559	1,551	1,563

5. 令和4年度の実績及び成果

(1) 令和4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
国分シビックセンター市民ギャラリー、エントランスホール、共通ロビーを利用して展示会を開催し、一般・ジュニア部門の入賞・入選作品を展示した。 ・展示期間 令和4年7月19日~7月29日(11日間) ・展示点数 461点(自由66、テーマ59、ジュニア336) (巡回展=令和4年7月31日~8月14日(15日間)/展示点数 44点(自由22、テーマ22)) ・応募総数 2,024点(自由126、テーマ100、ジュニア1,798) ・応募者数 1,972人(自由99、テーマ75、ジュニア1,798) ・一般応募者数 173人(霧島市76、鹿児島市21、伊佐市5、姶良市4、その他県内45、県外17)	前回と比較すると自由部門が24点増加、テーマ部門が9点増加、ジュニア部門が900点減少した。一般(自由・テーマ)部門は前回と比較すると増加したものの、減少傾向にある。会期を変更したこともあり、ジュニア部門の幼児の部を除き、大幅に減少した。 幼児から80代といった幅広い年齢層から応募があり、一般部門では特に10代からの応募が増えた。 一般(自由・テーマ)部門の市内応募者は45%、市外(県内)応募者は45%、県外応募者は10%に留まったが、遠くは北海道や沖縄県からも応募があった。

事務事業 番号	02425	事務 事業名	きりしま美術展開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	他市町で同様の公募展や美術団体ごとの展示会が行われているが、霧島に特化した部門を設けることで愛郷心を育み、未来を担う幼児・小中学生の豊かな心の醸成に寄与している。しかし、一般部門の出品者数が減少していることから、さらなる情報発信が必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持				レ	
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 令和5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	全国公募を謳っているが、県外からの応募はまだ少ない状況なので、引き続き、県外の美術系高校、大学への周知広報、公募サイト等SNSを活用した情報発信に努める。 例年の開催時期であった10月に、令和4年度の「全国和牛能力共進会」と、令和5年度の「国民体育大会」開催があったため、開催時期を6～7月に変更して令和4年度から実施しているが、作品の保管場所や、人員の配置など、開催時期変更によって考えられる影響を事前に考慮したうえで引き続き円滑に業務を進めていく。						
(3) 令和6年度の方向性（具体的な取組）	全国公募展として応募者が増加するよう、市内の愛好家を育成するとともに市外、県外における、本美術展の認知度を向上する手段を検討する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充						
		維 持						
		縮 小						
		休廃止（統合含む）						
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性								
(2) 総評								

1. 基本情報							
事務事業番号	02427	事務事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	市民環境部		
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課		
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		グループ	スポーツ・文化グループ		
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実		内線番号	3982		
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度	平成17年度	~)
	項	06	社会教育費		期間限定複数年度(~))
目	目	06	文化振興費	根拠法令・条例等	特になし		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内の小中学生に対して優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に対する興味や関心を高めるとともに、豊かな心の醸成を図る。

- ・市町村による青少年劇場：市内の小中学校に3年に1回音楽鑑賞の機会を提供する。
- ・生徒芸術鑑賞会：市内の中学校に3年に1回音楽鑑賞の機会を提供する。
- ・劇団四季「こころの劇場」：市内の小学6年生全員を市民会館に招待し、演劇鑑賞の機会を提供する。
- ・その他芸術文化事業(文化庁・県主催等)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 舞台演劇・コンサートの開催数	回	12	13	12	13
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 霧島市内の中学生	霧島市内の中学生の数	人	3,555	3,600	3,549	3,600
イ 霧島市内の小中学生	霧島市内の小中学生の数	人	7,352	7,500	7,372	7,500
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
ア 芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	観劇した児童生徒数	人	3,873	5,800	3,835	5,800
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。

また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

小学生対象の青少年劇場(音楽)は3年毎にメニューを見直しており、令和4年度から「笑いの芸術」をテーマとして実施し、令和6年度まで同様の予定。中学生対象の生徒芸術鑑賞会事業はみやまコンセルの「おとだけコンサート」を実施し、吹奏楽部や音楽部などのレベル向上や霧島国際音楽祭のPRを図る。劇団四季「こころの劇場」は昨年度に引き続き動画配信で鑑賞する。

全ての事業について、新型コロナウイルスの感染対策を万全に行い、実施していく。

4. 事業費の推移

事業費	単位	3年度	4年度		5年度	6年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	4,100	4,100
一般財源	千円	2,525	3,092	3,024	25	25
事業費	千円	2,525	3,092	3,024	4,125	4,125

5. 令和4年度の実績及び成果

(1) 令和4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
青少年劇場については、15校を対象に、7公演、1,910人の児童が鑑賞した。生徒芸術鑑賞会については、4校を対象に、4公演、1,072人が鑑賞した。劇団四季「こころの劇場」については、オンライン配信により、22校を対象に、853人が鑑賞した。	青少年劇場では、伝統的な話芸の一種である落語を、生徒芸術鑑賞会では、県内アーティストの生演奏を披露し、劇団四季「こころの劇場」では、鑑賞を希望する学校を募り、市内の小中学生に良質な芸術・文化に触れる機会を提供することができた。

事務事業 番号	02427	事務 事業名	児童生徒芸術鑑賞会事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check)>			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	感受性の高い児童生徒の感性を高めるためには優れた芸術文化を体感させることが重要であり、次世代を担う子どもたちの豊かな心の醸成に寄与する事業であるため継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)							
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持				レ	
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持		拡 大
			コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	小学生対象の青少年劇場は、3年毎にメニューを見直している。令和4年度から「笑いの芸能『寄席』」を実施しており、令和6年度まで同内容を実施予定である。 中学生対象の生徒芸術鑑賞会は、みやまコンセルの「おとどけコンサート」を実施し、吹奏楽部や音楽部などのレベル向上や霧島国際音楽祭のPRを図る。 劇団四季「こころの劇場」は、4年ぶりに通常開催し、プロの公演を観劇できる機会を提供する。						
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	市内全ての児童生徒に、小学生のうちに2回、中学生のうちに1回、芸術鑑賞の機会を、小学6年生で演劇鑑賞の機会を提供し、芸術に対する興味や関心を高めるとともに、豊かな心を醸成する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
		維 持	
		縮 小	
		休廃止（統合含む）	
		皆 減	縮 小 維 持 拡 大
			コスト投入（予算）の方向性
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02428	事務事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	001	芸術文化に触れ親しむ機会の充実			内線番号	3981
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	06	社会教育費		期間限定複数年度(平成30年度 ~ 令和4年度)	
目	目	06	文化振興費	根拠法令・条例等		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 会館の管理運営及び自主文化事業の企画運営も含め「(株)舞研」を指定管理者として委託し、新たに5年間の指定管理が開始された。施設や設備に修繕が必要とされた場合は、年間におおむね100,000円までは指定管理者の負担、それを超える部分は市の負担としている。(基本協定書第15条第2項)
 [施設の概要]
 開館日 昭和42年7月19日(平成11年10月16日リニューアル)
 延べ床面積 4,472㎡
 座席数 固定席1,044 うち車椅子席6 親子席12
 休館日 毎月第1月曜日、年末年始 開館時間 午前9時~午後10時

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 会館日数	日	347	347	203	347
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 市民	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
ア 文化的催し物を鑑賞してもらおう	総入場者数	人	32,876	69,600	34,251	69,600
イ 稼働日数	貸し館等の利用があった日数	日	174	347	178	347
ウ 稼働日数(ホール)	ホールの利用があった日数	日	154	202	147	202

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 子どもの頃から身近な場所で良質な芸術・文化を鑑賞し、体験できる機会を提供するとともに、これまでの広報活動に加え、各種メディアなどを活用した積極的な情報発信に努めます。
 また、関係機関と連携し、市民ニーズ等を踏まえた音楽・演劇などの芸術文化を享受できるイベントや、市民が優れた芸術に触れる機会の創出に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 ・自主文化事業のメニュー選定については、質の高い舞台芸術に触れることで市民の文化意識の向上につながる内容になるよう企画段階から指定管理者と十分な協議を行いながら計画していく。
 ・建築後50年以上、大規模リニューアル後20年以上経過し、老朽化が進んでいるため、複数年にわたる大規模改修を計画的に行う必要がある。
 ・各感染予防ガイドラインに基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。

4. 事業費の推移

事業費	単位	3年度決算	4年度		5年度当初予算	6年度計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	466	20,857	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	9,223	4,192	3,404	5,029	0
一般財源	千円	85,120	47,651	52,842	83,995	53,071
事業費	千円	94,343	51,843	56,712	109,881	53,071

5. 令和4年度の実績及び成果

(1) 令和4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>
 自主文化事業をはじめ、芸術文化団体の芸術祭や文化祭の開催、幼保園の発表会、小中学校の文化部活動及び吹奏楽部演奏会などに利用された。また、霧島市事業として成人式や健康福祉祭りなどに利用された。年間を通じて78件、34,251人が利用した。その内、市民会館自主文化事業として7つのプログラムを実施し、2,920の方々々が鑑賞や体験をした。改修工事により4月6日より8月31日(148日間)まで休館とした。

(2) 令和4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
 文化協会等の芸術祭や、学校の発表会に場所を提供することにより、市民が芸術文化を発信することができた。また、市民会館自主文化事業、コンサートや演奏会が開催されることにより市民が音楽や舞台などの芸術に親しむことができた。コロナ禍での難しい施設運営となったが、指定管理者と協働し各感染予防ガイドラインに基づき対策を行い、利用者の安全を図った。

事務事業 番号	02428	事務 事業名	霧島市民会館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check)>		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市民会館は、芸術文化の拠点施設である。現在、指定管理者制度を導入し、円滑に運営を行っている。公共性の高い施設である為、市費を投じるのは妥当と言える。自主文化事業を通し、質の高い舞台芸術に市民が触れられる機会を設けている。しかし、施設の老朽化などハード面の問題があるため、施設の今後のあり方を検討する必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			レ
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
					拡 大
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	<ul style="list-style-type: none"> 市自主文化事業のメニュー選定については、質の高い舞台芸術に触れることで市民の文化意識の向上につながる内容になるよう企画段階から指定管理者と十分な協議を行いながら計画していく。 建築後50年以上、大規模リニューアル後20年以上経過し、老朽化が進行しているため、複数年にわたる大規模改修を計画的に行う必要がある。 				
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改修を計画的に実施する。 				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
					拡 大
(2) 総評					

1. 基本情報						
事務事業番号	02429	事務事業名	文化芸術支援事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	003	次世代へつなぐ芸術文化活動の推進		担当課長	久木田 勇	
基本事業名	002	芸術文化活動を実践する市民及び団体への支援		グループ	スポーツ・文化グループ	
予算科目	会計 一般会計 款 10 教育費 項 06 社会教育費 目 06 文化振興費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 期間限定複数年度(内線番号	3981	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	特になし	
				関連計画	特になし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
スポーツ・文化振興課が所管する芸術文化団体(霧島市文化協会・霧島市少年少女合唱団・霧島神楽振興会及び霧島国際音楽祭・霧島国際音楽祭交流会)が行っている活動は、本市の芸術文化振興に多大な貢献をしていることから、補助金を交付して各団体の保存・継承及び運営の安定化を図っている。						
活動指標 (事務事業の活動量)						
	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)	
ア 補助を行った団体数	団体	3	5	4	5	5
イ						
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 補助団体	補助団体数	団体	3	5	4	5
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)
ア 適切に運営される	適切に運営された団体数	団体	4	5	4	5
イ						
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
市民の自主的な芸術・文化活動により、多くの市民が芸術文化に親しめる機会が増えるよう、市民活動の支援に取り組みます。 また、市文化協会や関係団体など、積極的に活動する芸術文化団体への支援や団体相互の交流の推進により、活動の活性化を図るとともに、芸術文化を支える人材の育成に努めます。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 当初予算	6年度 計画	
高齢化による会員減少等が顕著に表れている団体もあり、組織体制や事業の見直し等を行い、関心層を増やす必要がある。広報誌をはじめウェブやSNS等、あらゆるツールを活用し、活動状況や、イベント紹介等、積極的な広報等の支援を行う。		事業費					
		財源内訳					
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	9,001	9,484	9,180	9,094	9,094	
事業費	千円	9,001	9,484	9,180	9,094	9,094	

5. 令和 4年度の実績及び成果	
(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 4年度の実績(取組)による成果を記載
芸術祭舞台部門や例年支部ごとに開催している文化祭は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、できる範囲での活動を行った。少年少女合唱団も同様に、感染防止対策を徹底しながら練習を続け、県少年少女合唱祭への出演や演奏会を主催した。県少年少女合唱祭は、本市で開催されたことから、開催地負担として補助金を交付した。霧島国際音楽祭は、徹底した感染防止対策を講じて予定どおり開催した。なお、霧島国際音楽祭交流会(ピュッフェパーティー)については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	各団体ともにコロナ禍で思うように活動できない部分があったが、感染症対策を徹底しながら、できる範囲で活動を行った。例年より回数は減少したものの、市民を含めた多くの方々に芸術文化に触れる機会を提供できた。

事務事業 番号	02429	事務 事業名	文化芸術支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 各団体の活動により、市民が芸術文化に触れるきっかけづくりができている。また芸術文化活動の受け皿となる団体の維持継承に市費を投じることは、多くの市民にその機会を与えることに繋がっていると考えられる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			レ
		縮小			
		休廃止（統合含む）			
			皆減	縮小	維持 拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	高齢化による会員減少等が顕著に表れている団体もあり、組織体制や事業の見直し等を行い、特に若年層の関心を増やす必要がある。団体の活動内容やイベント開催等について、広報きりしまや市ホームページをはじめ、あらゆる広報媒体を活用して紹介することにより、積極的な周知・広報等の支援を行う。				
(3) 令和6年度の方向性（具体的な取組）	各団体の活動継続のため、会員拡大や周知・広報、組織のあり方等について、指導・助言等を行う。				

8. 2次評価結果（担当部長評価）					
				評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			
		縮小			
		休廃止（統合含む）			
			皆減	縮小	維持 拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評					

1. 基本情報						
事務事業番号	02447	事務事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化グループ	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3981	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和33年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
目	目	02	社会体育振興費	根拠法令・条約等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内の各地区ごとにスポーツイベントを開催する事業。運営は市及び各地区実行委員会等が連携して行っている。全地区で大会を開催することで、練習や試合を通して日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、スポーツを楽しんでもらうとともに、住民相互の親睦や地域の結束と融和を深める機会となっている。

- 【実施計画】
- 国分地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、ソフトボール)
 - 溝辺地区(球技、駅伝ウォーキング)
 - 横川地区(ミニバレー、グラウンド・ゴルフ、駅伝)
 - 牧園地区(グラウンドゴルフ、ゲートボール、ミニ運動会、バレーボール、ゴルフ、ソフトボール)
 - 霧島地区(バレー、ゲートボール、卓球、グラウンド・ゴルフ、レクリエーション)
 - 隼人地区(ウォーキング、室内ベタンク、ソフトボール)

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 各地区スポーツ祭参加者数(7地区27競技)	人	661	4,000	1,182	2,000
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 霧島市居住者及び通勤者	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
ア スポーツ祭を通して住民相互の親睦が図れる	スポーツ祭を通して親睦を図れた市民の数	人	621	4,000	1,182	2,000
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。
また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
より多くの市民が参加しスポーツを楽しめるよう、日程や種目等、開催地区の実情に応じた取組について検討する。
また、コロナ禍における大会開催のあり方について、協議、検討、調査等を行う。

4. 事業費の推移

事業費投入量	財源内訳	単位	3年度	4年度		5年度	6年度
			決算	当初予算	決算	当初予算	計画
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	1,800	0	1,800	1,800
	一般財源	千円	491	0	974	0	0
	事業費	千円	491	1,800	974	1,800	1,800

5. 令和4年度の実績及び成果

(1) 令和4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

各地区において、13のスポーツイベントを開催し、1,182人の市民が参加した。なお、14のスポーツイベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

(2) 令和4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

各地区の主催者において、開催可否の判断を行った上で実施しており市民がスポーツを楽しむとともに、住民相互の親睦が図られた。

事務事業 番号	02447	事務 事業名	各地区スポーツ祭開催支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	地区自治公民館やスポーツ推進委員等の市民の主体的な取組みであり、市が補助金交付や事務的補助を行うことは、参加者や観戦者のスポーツを、する・みる・支えるの観点から、スポーツをする機会の創出と、相互の親睦を図られ、市民のスポーツ活動が充実することから妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持				レ	
		縮小					
		休廃止（統合含む）					
			皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 令和5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	より多くの市民が参加しスポーツを楽しめるよう、他のスポーツイベントと重複しないように、開催日程や実施種目等を調整するとともに、開催地区の実情に応じた取組について検討する。 また、スポーツ祭に係る参加料金設定については、各地区不均一であることから、適正な料金設定となるよう協議、検討する。						
(3) 令和6年度の方向性（具体的な取組）	自主的な運営が図れるよう、引き続き各実行委員会への助言・指導を行い、年齢や性別、障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめる種目の実施に取り組む。 また、日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、イベントを通して、市民相互の融和親睦と体力の向上を図り、競技の普及・発展に努めることで生涯スポーツへの意識を高める。						

8. 2次評価結果（担当部長評価）

(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持					
		縮小					
		休廃止（統合含む）					
			皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02448	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化グループ	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3982	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 平成 3年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
目	02	社会体育振興費		根拠法令・条約等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 市民の健康増進、スポーツ交流人口の増大及び上野原縄文の森の幅広い周知拡大を図る。主催は、霧島市・上野原縄文の森駅伝大会実行委員会であり、職員は事務局員として、会場の設営、コースの確認、協賛金の依頼・徴収、大会運営などを主体的に行っている。県内外から多数の参加があり、駅伝競技としては県内でも位置づけられた大会に成長しており、市の魅力度アップにつながっている。最近では自動計測システムを導入し参加者へのスピーディな記録集計を行っている。
 場所：上野原縄文の森
 縄文の森の周知に関しては、県が中心に大会参加者への体験学習等を行い、展示館への無料見学を実施している。
 種目：ジョギングの部 4.8km(高校生以上)、2.4km(小・中学生)
 駅伝の部 一般男女・混成・中学男女7区 9.6km、小学男女8区9.6km
 参加料：ジョギングの部 一般(高校生以上)3,000円/人、中学生以下2,000円/人
 駅伝の部 一般(高校生以上)8,000円/チーム、中学生 7,000円/チーム、小学生 5,000円/チーム

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (実績)	令和 6年度 (見込)
ア 駅伝コース(部門)の数	コース・部門	0	7	7	0
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (実績)	令和 6年度 (見込)
ア 縄文の森駅伝大会参加者	縄文の森駅伝大会参加者数	人	0	1,500	1,515	0
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (実績)	令和 6年度 (目標)
ア ジョギングや駅伝を楽しんでもらう	ジョギング・駅伝を楽しめた人の割合%		0	100	100	0
イ 上野原縄文の森を知ってもらう	来場者数(イベント参加者数)	人	0	4,300	3,000	0
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。
 また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 大会を通じてより多くの方に運動や健康への関心を持ってもらうほか、市内外、若者男女を問わず参加できるよう大会ホームページを活用しながら広報に努める。
 近年、参加者が減少傾向にあるため、新たな参加者の確保と既存の参加者の継続を促すための取り組みを強化する。
 30回記念大会では、参加者の減少や感染対策の強化などから、従来の参加者を呼び戻すことと、新たな参加者の確保を目的とした取り組みを行う。
 上野原縄文の森の歴史を伝えるだけでなく、大会開催の歴史や、今後の開催可否について具体的な協議を進める。

4. 事業費の推移

事業費 投入量	事業内訳	国庫支出金	千円	3年度 決算	0	4年度 当初予算	0	5年度 決算	0	6年度 当初予算	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0			
		その他	千円	0	2,500	0	0	0			
		一般財源	千円	0	0	2,485	0	0			
		事業費	千円	0	2,500	2,485	0	0			

5. 令和 4年度の実績及び成果

(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 4年ぶりの通常開催であり第30回記念大会でもあったが、ジョギングの部95人、駅伝の部170チーム1,420人の合計1,515人のジョギング愛好者や駅伝ランナーが参加した。	(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載> 本大会を通じて、多くの参加者が縄文文化を肌で感じながら、参加者の親睦と連帯を深めていたが、十分な駐車場の確保や交通量の増加に伴い、選手の安全性を確保することが困難となったことから、本大会は今回で終了となった。
--	---

事務事業 番号	02448	事務 事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討		C 理由 縄文の森駅伝大会参加者の運動習慣を継続する機会としスポーツ振興に寄与することや、市外からの参加者に上野原縄文の森を知ってもらうとともに市の観光PRを目的として、地元企業協賛や各団体の協力を得て開催してきた。上野原テクノパークの企業立地が進んでいることによる駐車場や安全の確保が年々難しくなっていることや、子ども館が設置されたことが上野原縄文の森の知ることにもつながることから、令和4年度で事業廃止とした。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)																																		
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">の 事 業 向 成 果 性 (成 果)</td> <td>拡 充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止（統合含む）</td> <td>レ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆 減</td> <td>縮 小</td> <td>維 持</td> <td>拡 大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入（予算）の方向性</td> </tr> </table>	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充					維 持					縮 小					休廃止（統合含む）	レ						皆 減	縮 小	維 持	拡 大	コスト投入（予算）の方向性					
	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)		拡 充																															
維 持																																		
縮 小																																		
休廃止（統合含む）		レ																																
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大																													
コスト投入（予算）の方向性																																		
(2) 令和5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	令和4年度に30回という節目を迎え、4年ぶりの通常開催となったが、十分な駐車場の確保や交通量の増加に伴い、選手の安全性を確保することが困難となったことから、本事業は、令和4年度をもって廃止する。																																	
(3) 令和6年度の方向性（具体的な取組）																																		

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名																																	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">の 事 業 向 成 果 性 (成 果)</td> <td>拡 充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止（統合含む）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆 減</td> <td>縮 小</td> <td>維 持</td> <td>拡 大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入（予算）の方向性</td> </tr> </table>	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充					維 持					縮 小					休廃止（統合含む）							皆 減	縮 小	維 持	拡 大	コスト投入（予算）の方向性							
	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)		拡 充																																	
維 持																																				
縮 小																																				
休廃止（統合含む）																																				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大																															
コスト投入（予算）の方向性																																				
(2) 総評																																				

1. 基本情報						
事務事業番号	02449	事務事業名	スポーツ推進審議会運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化グループ
基本事業名	001	生涯スポーツの推進			内線番号	3962
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 平成23年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
目	02	社会体育振興費		根拠法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市スポーツ推進審議会条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
市のスポーツの推進に関する事項について調査・審議するため、スポーツ基本法第31条の規定に基づき、霧島市スポーツ推進審議会を設置している。審議会は、市の諮問に応じて、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査・審議する。						
(1) 生涯スポーツの推進に関すること。						
(2) スポーツ行事の実施及び奨励に関すること。						
(3) スポーツ団体及び指導者の育成に関すること。						
(4) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。						
組織は、スポーツ関係団体及び校種別代表、計9人の委員で組織している。						

活動指標 (事務事業の活動量)		単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア	開催されたスポーツ審議会の回数	回	1	2	0	2
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア	スポーツ審議会委員	人	10	10	9	9
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)
ア	スポーツの推進に関する事項を審議する	件	0	2	0	2
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)

誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。

また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移						
令和 4年度の改善改革の内容 (取り組むべき課題)		単位	3年度 決算	4年度 当初予算	4年度 決算	5年度 当初予算	6年度 計画	
スポーツに関する施策の提言や課題解決に向けた協議を行う。		事業費投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	34	81	0	84
			事業費	千円	34	81	0	84

5. 令和 4年度の実績及び成果	
(1) 令和 4年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>
令和 4年度については、調査・審議事項が無かったことから開催していない。	市スポーツ推進審議会を開催しなかったことから、成果は不明であるが、本市の生涯スポーツを推進するため、定期的な開催に努める。

事務事業 番号	02449	事務 事業名	スポーツ推進審議会運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法及びスポーツ推進審議会条例によって設置されているものであり、縮小・廃止はできない。また事業費についても出席した委員の報酬及び費用弁償のみであり削減の余地はない。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持				レ	
		縮小					
		休廃止（統合含む）					
			皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	スポーツに関する施策の提言や課題解決に向けた協議を行う。 施設管理グループが所管する「社会体育施設長寿命化計画」等を含めて、審議会への諮問内容等を整理するとともに、活発な審議・進言ができるよう、審議会の充実した運営に努める。						
(3) 令和6年度の方向性（具体的な取組）	スポーツに関する施策の提言や課題解決に向けた協議を行う。						

8. 2次評価結果（担当部長評価）

(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持					
		縮小					
		休廃止（統合含む）					
			皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02450	事務事業名	学校体育施設開放事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化グループ
基本事業名	001	生涯スポーツの推進			内線番号	3962
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和40年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
目	02	社会体育振興費		根拠法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市立学校施設使用条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として、学校体育施設を学校教育に支障がない範囲で開放する。開放する対象施設は、霧島市内の全ての小・中学校体育施設とし、霧島市内に居住する市民の団体であれば、登録することにより定期的に借りることができる。
 体育館・運動場：小学校 35校、中学校 11校
 運動場照明施設：小学校 11校、中学校 2校
 武道館：中学校 7校
 使用料：一般 体育館 220円、武道館 220円、グラウンド 850円
 児童生徒 体育館 110円、武道館 110円、グラウンド 430円
 利用日誌の管理は管理指導員が行い、スポーツ・文化振興課へ報告する。その後、市が集計表をもとに審査し、納付書を発行する。

活動指標 (事務事業の活動量)		単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア	開放した学校の体育施設の数(小学校(体育館・グラウンド)・中学校(体育館・グラウンド・武道館))	施設	63	94	68	94
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 市民	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)
ア スポーツ活動ができる	使用者数(学校体育施設開放事業を利用してスポーツを行った人)	人	159,864	180,000	175,065	180,000
イ スポーツ活動ができる	使用団体数(学校体育施設開放事業を利用してスポーツを行った団体数)	団体	222	260	228	260
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針 (総合計画より)
 誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。
 また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 <改善内容>
 ・令和3年度に新システムを準備し、事務の簡素化を図ることができた(令和4年度から新システム運用開始)
 ・使用料の入金が滞滞している団体に対する督促状の送付を令和3年度から実施。入金の滞りが殆ど見られなくなった。
 <課題>
 ・国分地区の運動場夜間照明の管理運営は、旧国分市時代から各地区自治公民館で実施している。令和3年度国分地区自治公民館連絡協議会総会(令和4年2月開催)において、他地区と同様に、市で直接管理してほしいとの要望が出された。

4. 事業費の推移

事業費 投入量	事業内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	1,607	2,002	1,779	1,836	1,836
		一般財源	千円	304	433	387	437	437
		事業費	千円	1,911	2,435	2,166	2,273	2,273

5. 令和 4年度の実績及び成果

(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> 68ヶ所の学校体育施設が開放され、228の団体及び個人が登録し、のべ175,065人が利用した。	(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載> 学校体育施設を開放することにより、地域住民の親睦やコミュニティスポーツの普及と健康増進、生涯スポーツの振興が図られ、事故等の発生もなく、安全に体育施設を開放することができた。
---	--

事務事業 番号	02450	事務 事業名	学校体育施設開放事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A 本事業を縮小等した場合、多くの市民のスポーツ活動の場がなくなり、学校・家庭・地域社会がそれぞれの機能を十分に発揮できなくなるため、継続して取り組むことが妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	令和4年度より新システムを導入したことにより、事務の効率化や簡素化が図られたが、納付の遅延が見られたため、月末締め翌月発送を固定化し、滞納が発生しないように努めるとともに、利用者に丁寧に説明し理解を求める。 国分地区の運動場夜間照明の管理運営について、現在は地区自治公民館で行っていることから、持続可能な事業実施のために、管理運営方法について検討する。 また、引き続き、各学校運営協議会の管理指導員（教頭等）と連携し、更なる効率的・簡素な事務運営を目指す。				
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	令和4年度より新システムを導入したことにより、事務の効率化や簡素化が図られたが、納付の遅延が見られたため、月末締め翌月発送を固定化し、滞納が発生しないように努めるとともに、利用者に丁寧に説明し理解を求める。 国分地区の運動場夜間照明の管理運営について、現在は地区自治公民館で行っていることから、持続可能な事業実施のために、管理運営方法について検討する。 また、引き続き、各学校運営協議会の管理指導員（教頭等）と連携し、更なる効率的・簡素な事務運営を目指す。				

8. 2次評価結果（担当部長評価）					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性	拡 充			
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 総評					

1. 基本情報						
事務事業番号	02451	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課長	久木田 勇
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化グループ
基本事業名	001	生涯スポーツの推進			内線番号	3982
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和40年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
	目	02	社会体育振興費		根拠法令・条約等 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 スポーツを通して青少年の健全な心身を鍛錬するために、結成された単位スポーツ少年団の育成指導及び連絡調整を図る。
 業務内容としては、団・団員や指導者の登録業務、育成費の支給、少年団各種大会の助成、県及び地区交歓大会・募金活動等への団派遣、市内競技別大会の実施等に事している。
 ・各単位スポーツ少年団登録事務：登録料 団員 1人800円(日本ｽｯ 少300円・県ｽｯ 少400円・市ｽｯ 少100円)、単位団 1団(市ｽｯ 少1,000円)
 ・各単位スポーツ少年団育成費支給事務・・・団員 1人300円、1団12,000円の積算で支給
 ・霧島市スポーツ少年団主催事業の実施・・・霧島市スポーツ少年団フェスティバル(競技別大会)の実施等
 ・スポーツ少年団活動領域にかかる各事業への協力・・・県競技別交歓大会・地区交歓大会・歳末たすけあい募金活動・体力テスト等への参加

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 指導育成研修会・交歓大会・フェスティバル数	回	12	12	19	25
イ 競技種目数	種目	10	12	14	12
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 霧島市スポーツ少年団員	登録団員数	人	949	1,000	946	1,000
イ 霧島市スポーツ少年団単位団	単位団数	団	60	60	59	59
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)
ア 基礎体力が向上する	基礎体力が向上した団員数(体力テスト1級/テスト参加者)	人	0	15	15	15
イ 奉仕活動等へ参加できる	奉仕活動をした団員数	人	0	345	175	200
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。
 また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動がこしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動がこしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 ・毎年4月29日(昭和の日)に実施している「スポーツ少年団結団式」について、参加率の向上が見込める開催内容の検討を行う。
 ・令和2年度から指導者に関する制度等が改定されたため、各団への周知を徹底し、スムーズな資格移行を行ってもらう。
 ・スポーツ少年団活動はスポーツを通して青少年の「人間づくり」と「体力づくり」に大きく寄与しており、指導者の役割が大変重要であるが、スポーツ少年団のあるべき姿を正しく理解していない団もあり、更なる研修が必要である。
 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で活動を行うよう適切な指導を行う。

4. 事業費の推移		単位	3年度 決算	4年度 当初予算	4年度 決算	5年度 当初予算	6年度 計画
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,305	1,305	1,305	1,305
		事業費	千円	1,305	1,305	1,305	1,305

5. 令和 4年度の実績及び成果

(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> スポーツ少年団の研修会や歳末たすけあい街頭募金活動(14団、175人)など、コロナ禍においても、感染防止対策を徹底して、実施することができた。 指導者等研修会や交歓大会、フェスティバルを19回開催し、14種目の競技で交流することができた。	(2) 令和 4年度の実績(取組)による成果を記載< コロナ禍においても、感染症対策を徹底し、可能な範囲での活動を行い、スポーツを通じた青少年の健全育成活動に努めた。 また、昨年と同様に研修会を開催し、スポーツ少年団活動の目的や理念等について、育成会や指導者等に対し、再認識してもらう機会を提供することができた。
---	--

事務事業 番号	02451	事務 事業名	スポーツ少年団育成事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	理由 本事業は、スポーツを通じた児童生徒の健全育成を図るものであり、事業規模の縮小は、子供の成長や、日常的なスポーツ活動に重大な影響を与えることとなるため、継続が妥当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			レ
		縮小			
		休業止（統合含む）			
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和5年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	毎年4月29日（昭和の日）に開催している「スポーツ少年団結団式」の参加者数を増やすために、開催内容等を検討するとともに、令和2年度に改正されたスポーツ少年団指導者制度について、各団に周知徹底し、スムーズな資格移行を行う。 また、スポーツ少年団活動は、スポーツを通して青少年の「人間づくり」と「体力づくり」に大きく寄与しているため、指導者の役割が大変重要であるが、スポーツ少年団のあるべき姿を正しく理解していない団もあるため、引き続き研修会等を実施する。				
(3) 令和6年度の方向性 (具体的な取組)	「スポーツ少年団」の理念やあり方について、各種研修会等を通して、指導者や育成会に助言指導を行う。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)					
			評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			
		縮小			
		休業止（統合含む）			
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評					

1. 基本情報						
事務事業番号	02452	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化グループ	
基本事業名	001	生涯スポーツの推進		内線番号	3982	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和36年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
	目	02	社会体育振興費	根拠法令・条例等	スポーツ基本法・霧島市スポーツ推進委員に関する規則・霧島市非常	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 市内各地区からの推薦を受けて、市がスポーツ推進委員として任命し、スポーツ行事等への協力及び住民スポーツの振興のための助言指導を行う。
 ・各地区のスポーツ推進委員：計89人(国分：27人、溝辺：11人、横川：7人、牧園：10人、霧島：7人、隼人：19人、福山8人)
 ・スポーツ推進委員の指導・協力を得て開催・主催した大会等：ニュースポーツ指導(全地区)、県地区対抗女子駅伝競走大会(全地区)、県下一周市郡対抗駅伝大会(溝辺、霧島を除く全地区)等
 職員は、各地区の担当者が事務局員として従事し、市民のスポーツに関する連絡調整、スポーツイベントの企画運営役を下支えしている。また、スポーツ推進委員の活動後、報酬・費用弁償の支払い事務を行っている。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア スポーツ推進委員開催行事	回	1	2	2	2
イ 会議の回数	回	38	45	37	40
ウ 指導回数	回	13	35	17	20

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア スポーツ推進委員	スポーツ推進委員の数(各地区より)	人	90	91	89	91
イ 市民	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
ア スポーツ推進委員の指導力が向上する	出前講座(ニュースポーツ講座)派遣回数	回	13	35	17	35
イ 市民のスポーツへの関心が高まる	出前講座参加人数に変更(人)	人	270	330	692	600
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 誰もが、それぞれの関心や適正に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりに取り組み、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進します。
 また、地域住民により自主的・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブの育成等、市民が主体的に参画できるスポーツ環境を整備するとともに、多様化するニーズや環境の変化に対応した、新たな視点によるスポーツ指導者やコーディネーター役を担うスポーツ推進委員の養成に努めます。さらに、第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催に向け、市民と一体となり、気運の醸成に努め、霧島ならではの魅力溢れる大会を目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 霧島市スポーツ推進委員協議会内に設置している各部会を中心に、コロナ禍であることに配慮しながら、スポーツ推進委員の資質向上を図り、市民のニーズに応え、スポーツを行う環境づくりやスポーツを通じた地域づくりに寄与できるように、独自の研修会開催や地域のスポーツ振興事業等を主体的に参画・実施する。また、事業目的等を考慮しながら委員定数の適性数等の検討を行う。

4. 事業費の推移		単位	3年度決算	4年度当初予算	4年度決算	5年度当初予算	6年度計画
事業費投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	4,292	8,294	5,812	7,838
	事業費	千円	4,292	8,294	5,812	7,838	

5. 令和4年度の実績及び成果

(1) 令和4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>
 協議会組織内の部会(総務・研修・女性)を中心に自主的かつ積極的な活動が行われ、特に研修部会の企画運営のもとに市研修会を開催し、学校との関わりについての講話やレクリエーションの研修会を行った。
 また、県地区対抗女子駅伝、県下一周市郡対抗駅伝において、大会運営や中継所等の補助業務に従事するとともに、17回の出前講座(小学校、自治公民館等へニュースポーツの実技指導等)を実施し、692人の市民が参加した。

(2) 令和4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止となったイベントが多数あったが、地区単位で実施するスポーツイベントにおいて、企画運営や助言指導、連絡調整の業務に従事し、市民へのスポーツ普及推進を図った。
 また、研修部会を中心に独自で研修会を計画したことで、これまでの地区、県、九州地区での研修会だけでなく、より実状に近い内容の研修会を実施することができた。
 ニュースポーツ体験講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催回数は減少したが、地域のコミュニケーションづくりやスポーツへの興味・関心の高揚等が図られた。

事務事業 番号	02452	事務 事業名	スポーツ推進委員活動事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 自治体は、スポーツ基本法により非常勤公務員であるスポーツ推進委員を置くことが定められており、スポーツ推進委員活動の費用についても主に報酬と費用弁償となっており、委員定数の減少を除き、これ以上の削減は見込めない。市民のスポーツへの関心を高め、スポーツを行う環境づくりをよりよいものにするためにも、今後も自己研鑽に努め、スポーツ推進委員の資質向上に繋がる活動が必要となる。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)							
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
		維 持				レ	
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持		拡 大
			コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	霧島市スポーツ推進委員協議会内に設置している各部会を中心に、スポーツ推進委員の資質向上を図り、市民の幅広いニーズに応えるため、スポーツを行う環境づくりやスポーツを通じた地域づくりに貢献できるよう、独自の研修会等を実施するとともに、地域のスポーツ振興事業等を主体的に計画し実施する。 また、事業目的等を考慮しながら、委員定数の適正数等の検討を行う。						
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	出前講座の派遣を通して、市民が気軽にスポーツに親しめる環境を整備するとともに、委員のスキルアップを図るため、各種研修会を開催する。 また、生涯スポーツの振興のため、引き続き市民への助言指導を行うとともに、ニュースポーツの普及のために、市スポーツ協会等の関係機関と連携し、委員の積極的な活用を図る。 なお、事業目的等を考慮しながら、委員定数の適正数等の検討を行う。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
		維 持	
		縮 小	
		休廃止（統合含む）	
		皆 減	縮 小
			維 持
			拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報							
事務事業番号	02453	事務事業名	県下一周市郡対抗駅伝大会支援事業		担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課長	久木田 勇	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化グループ	
基本事業名	002	競技スポーツの推進			内線番号	3982	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度	昭和29年度	~)
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~))
	目	02	社会体育振興費	根拠法令・条例等	スポーツ基本法		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 昭和29年奄美の日本復帰などを記念してスタートした大会で、平成30年度66回大会で、前回大会と一部区間(霧島市内)のコース変更があった。1日目11区間128.9km、2日目10区間112.8km、3日目11区間122.3km、4日目10区間106.4km、5日目11区間113.4kmの合計5日間、53区間583.8kmでタスキをリレーする。
 本市は、第3日目中継所2箇所(横川・牧園)及びゴール1箇所(隼人)、第4日目スタート1箇所(国分)及び中継所1箇所(福山)、第5日目中継所2ヶ所(福山・国分)があり、中継所の接待及び走路の交通誘導等を行い、選手が安全に競技できるような大会を支援する。
 ・南日本新聞社主催の駅伝大会であり、県内男子では最大規模の大会である。
 ・本事業を開催するに当たり、中継所、ゴール、スタートの会場設営や、歓迎催事である太鼓及び吹奏楽の手配も行っている。
 また、中継所周辺の駐車場の確保、雑踏警備、交差点の歩行者誘導、選手の安全走行の管理に従事している。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 自主交通整理員・誘導員数(スポーツ推進員、交通安全協会、市職員)	人	197	185	203	200
イ 中継所・スタート・ゴール箇所(横川、牧園、隼人、国分、福山)	箇所	7	7	7	7
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 県下一周市郡対抗駅伝出場者	駅伝大会出場者数(霧島市内走者)	人	96	96	96	96
イ 観戦者	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
ア 安全で快適に走れる	怪我や事故をした選手数	人	0	0	0	0
イ 安全に応援できる	安全に応援できた個所数	箇所	84	84	84	84
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)		単位	3年度決算	4年度当初予算	4年度決算	5年度当初予算	6年度計画
本大会は、令和4年度で70回を数える歴史ある大会であり、市民のみならず、県民にも広く認知されている。事業の実施にあたっては、公道を必要とするため、事故を防止し、必要となる人員の配置、警備や主催者との関係各所と連携をとり、今後も最善を尽くして取り組む必要がある。またスタート・ゴール・中継所地点は特に観戦者も多いため、近隣住民の理解と協力が得られるよう努める。		事業費	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	28	93	28	93
		事業費	千円	28	93	28	93

5. 令和4年度の実績及び成果

(1) 令和4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
選手が安心かつ安全で快適に競技できる環境作りのために、第3日目中継所2箇所、ゴール1箇所、第4日目スタート1箇所、中継所1箇所、第5日目中継所2箇所を、スポーツ推進委員のべ87名、交通安全協会指導員のべ80名、市職員等のべ36名の合計203名で、中継所、ゴール、スタート地点の会場設営等の環境の整備を行った。 なお、歓迎催事については、第4日目スタート地点の国分南中学校吹奏楽部のおもてなしのみ実施された。	事前に広報誌や市ホームページ等で、駅伝大会の実施について市民に周知したことにより、大きな事故等は発生しなかった。 また、ゴール周辺の地域住民に配慮し、安全かつトラブル防止のため警備員として職員を配置した結果、選手や運営従事者、観客等大きな混雑は見られなかった。

事務事業 番号	02453	事務 事業名	県下一周市郡対抗駅伝大会支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		<p style="text-align: center;">A</p> <p>全県をあげての大会であり、本市の判断で廃止・縮小等することは大会運営に重大な影響を及ぼすため、継続して取り組むことが適当である。</p>

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	<p>本大会は、70回を数える歴史と伝統のある大会であり、市民のみならず県民にも広く認知されている。事業の実施にあたっては、公道を使用するため、事故を起こさないコース環境づくりと、必要な人員の配置、警察や道路管理者、主催者等の関係機関と連携を密に図り、責任をもって市が関与しなければならない。今後においても、選手が安心かつ安全で快適に競技できる環境作りのために、最善の注意を払って取り組む必要がある。</p> <p>また、中継所・ゴール・スタート地点は特に観客も多いため、周辺の近隣住民に配慮した警備員の配置など、安心かつ安全な運営に努める。</p> <p>なお、本事業は、令和6年度から地域振興局の組織が変更となることから、業務分担等について、地域振興局及び管内の市町において協議・調整を行う。</p>				
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	<p>本市が担当する中継所・ゴール・スタート地点について、道路事情や声援を送る市民の状況を精査しながら、主催者と連携・調整して最善のコースとなるよう努める。</p>				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)					
				評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 総評					

1. 基本情報							
事務事業番号	02454	事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業		担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	スポーツ・文化グループ	
基本事業名	002	競技スポーツの推進			内線番号	3982	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度	昭和63年度	~)
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~))
目	目	02	社会体育振興費	根拠法令・条例等	特になし		
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

鹿児島県内の12地区より女子駅伝選手を選抜し、毎年1月の最終日曜日に開催される県内ではトップクラスの女子駅伝大会である(主催:MBC)。6区間21.095kmの区間で競争し、各選手のレベルアップを図るため、大会に対して補助金を交付し、大会を後援する事業である。

・参加チーム:12チーム(鹿児島地区・指宿地区・川辺地区・日置地区・川薩地区・出水地区・伊佐地区・姶良地区・曾於地区・肝属地区・熊毛地区・大島地区)

・コース:霧島市隼人運動場をスタート 鹿児島神宮前交差点 鹿児島神宮入口交差点 木之房交差点 ホテル京セラ前交差点 河川敷 野口橋交差点 下井 野口橋交差点 ホテル京セラ前交差点 鹿児島神宮入口 鹿児島神宮前交差点 霧島市隼人運動場

・開催市の役割として、開閉会式の会場設営、グラウンドの整備・整地、防霜対策としての塩化カリウムの散布及び200mトラックの整備等を実施している。

また、大会周知用のぼり旗の設置と撤去、交差点の歩行者誘導や雑踏整備、選手の安全走行の運営管理等に従事している。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 交通指導員設置人数(スポーツ推進員、交通安全協会、市職員)	人	89	71	88	90
イ 中継箇所	箇所	6	6	6	6
ウ コース美化距離(自治会等によるボランティア)	km	5	5	5	5

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 地区対抗女子駅伝大会出場者	駅伝大会出場者数	人	192	192	192	192
イ 観戦者	人口	人	124,840	125,000	122,926	123,370
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
ア 安全で快適に走れる	怪我や事故をした選手数	人	0	0	0	0
イ 安全に応援できる	安全に応援できた箇所数	箇所	70	70	70	70
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。

また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。

さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

この大会は、全国で活躍する実業団や高校の選手が参加する大会で、トップレベルの選手が走る姿を身近に肌で感じる機会を作ることができ、開催市であるからに他ならない。今後も市民により一層親しまれる大会にするために大会PRなど積極的に行う。

また、地区対抗女子駅伝大会は公道を利用するため、道路事情の変化に伴う立寄箇所の再点検や交通整理員の適正人員について、関係機関と常に協議・検討する必要がある。

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心安全な大会運営を行う。

4. 事業費の推移

事業費	単位	3年度決算	4年度		5年度当初予算	6年度計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	2,400	2,400
一般財源	千円	2,788	2,819	2,798	429	429
事業費	千円	2,788	2,819	2,798	2,829	2,829

5. 令和4年度の実績及び成果

(1) 令和4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
スポーツ推進委員51名、交通安全協会指導員23名、市職員14名を動員し、選手が安心かつ安全で快適に走れるコースづくりを行うとともに、市民が安心して応援できる環境を整備した。	県内最高レベルの女子駅伝大会であり、選手が安全で快適に走れることや市民が安心して応援できる環境を整備することにより、女子長距離界の選手の強化及び育成と、市民がトップレベルの選手を間近に見る機会を提供することができ、「観るスポーツ」のレベルアップが図られた。

事務事業 番号	02454	事務 事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	この県内トップレベルの大会が安全に開催され、市民が安心して応援できることは、市民スポーツ活動を充実させることに繋がる。そのためコースの整備や中継所の設置・運営、応援者の安全確保のための警備や交通誘導は、市が取り組むべき事項である。現在、必要な交通警備員やボランティア員を必要数確保し、効率的かつ効果的に配置しており、これ以上の人員削減や業務時間の削減は、安全な大会運営に支障をきたす。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)																						
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	<table border="1"> <tr><td>拡充</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td><td>レ</td></tr> <tr><td>縮小</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>休廃止(統合含む)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	拡充					維持				レ	縮小					休廃止(統合含む)				
	拡充																					
維持				レ																		
縮小																						
休廃止(統合含む)																						
コスト投入(予算)の方向性		<table border="1"> <tr><td>皆減</td><td>縮小</td><td>維持</td><td>拡大</td></tr> </table>	皆減	縮小	維持	拡大																
皆減	縮小	維持	拡大																			
(2) 令和5年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本大会は、全国で活躍する実業団や高校の選手が参加する大会で、トップレベルの選手の姿を身近に肌で感じることができるのは、開催市であるからに他ならない。今後においても、市民により一層親しまれる大会にするために、大会の周知PRなどを積極的に行う。 また、地区対抗女子駅伝大会は公道を利用するため、道路事情の変化に伴う立哨箇所の特設検や交通整理員の適正人員について、関係機関と連携を密にし、協議・検討する。																					
(3) 令和6年度の方向性(具体的な取組)	引き続き、効率的かつ効果的な人員配置や業務スケジュールを検討するとともに、関係機関との連携を図り、安心かつ安全な大会運営を行い、市民の「観るスポーツ」の機会提供を行う。																					

8. 2次評価結果(担当部長評価)		評価者	職・氏名																			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業(成果)の方向性	<table border="1"> <tr><td>拡充</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縮小</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>休廃止(統合含む)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	拡充					維持					縮小					休廃止(統合含む)				
	拡充																					
維持																						
縮小																						
休廃止(統合含む)																						
コスト投入(予算)の方向性		<table border="1"> <tr><td>皆減</td><td>縮小</td><td>維持</td><td>拡大</td></tr> </table>	皆減	縮小	維持	拡大																
皆減	縮小	維持	拡大																			
(2) 総評																						

9. コストの推移

(単位：千円)			令和 4年度(決算)	令和 5年度(当初予算)	令和 6年度(計画)
01	報	酬	0	0	0
02	給	料	0	0	0
03	職	員手当等	0	0	0
04	共	済費	0	0	0
05	災	害補償費	0	0	0
06	恩	給及び退職年金	0	0	0
07	賃	金	0	0	0
08	報	償費	21	32	32
09	旅	費	0	0	0
10	交	際費	0	0	0
11	需	用費	377	397	397
	消	耗品費	377	387	387
	燃	料費	0	0	0
	食	糧費	0	10	10
	印	刷製本費	0	0	0
	光	熱水費	0	0	0
	修	繕料	0	0	0
	脂	材料費	0	0	0
	飼	料費	0	0	0
	医	薬材料費	0	0	0
12	役	務費	0	0	0
	通	信運搬費	0	0	0
	広	告料	0	0	0
	手	数料	0	0	0
	保	険料	0	0	0
13	委	託料	0	0	0
14	使	用料及び賃借料	0	0	0
15	工	事請負費	0	0	0
16	原	材料費	0	0	0
17	公	有財産購入費	0	0	0
18	備	品購入費	0	0	0
19	負	担金補助及び交付金	2,400	2,400	2,400
20	扶	助費	0	0	0
21	貸	付金	0	0	0
22	補	償補填及び賠償金	0	0	0
23	償	還金利子及び割引料	0	0	0
24	投	資及び出資金	0	0	0
25	積	立金	0	0	0
26	寄	附金	0	0	0
27	公	課費	0	0	0
28	繰	出金	0	0	0
		計	2,798	2,829	2,829
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他の	0	2,400	2,400
	一般財源	2,798	429	429	
		計	2,798	2,829	2,829

令和 4年度 補正・流用状況

当初予算	2,819
補正予算	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
流用・充用	0
予算合計	2,819

令和 4年度 特定財源内訳

区分	名称	金額
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
合 計		0

令和 4年度当初予算には令和 3年度からの繰越分を含む

1. 基本情報						
事務事業番号	02455	事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化グループ	
基本事業名	002	競技スポーツの推進		内線番号	3982	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和30年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
	目	02 社会体育振興費		根拠法令・条等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 各種大会の予選を勝ち抜き、九州及び全国大会への出場が決定している個人・団体、各種大会の県選抜の一員として、又は、各種団体の代表者からの推薦を受け、九州及び全国大会への出場が決定している個人・団体に補助金を交付する。
 [補助金の交付対象]
 市内の小・中学校の児童・生徒及び団体
 市内に居住する高等学校の生徒、社会人及びその団体
 ((財)日本中学校体育連盟、(財)全国高等学校体育連盟、(財)日本高等学校野球連盟主催の大会出場は除く。)
 [補助金の額]
 九州大会：予選大会の結果が準優勝以上の場合
 団体上限：小中学生 200,000円、小中学生以外 30,000円、個人 5,000円、左記以外 団体 10,000円、個人 3,000円
 全国大会：予選大会の結果が準優勝以上の場合

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 補助を行った件数	件	39	135	104	135
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 市民	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)
ア 出場経費の個人負担が軽減される	全国・九州大会出場者延べ人数	人	276	650	619	650
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移					
令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題) 当該制度の活用を促進するため、広報誌やホームページ等により積極的に周知に努める。		単位	3年度 決算	4年度 当初予算	4年度 決算	5年度 当初予算	6年度 計画
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	1,470	3,200	3,200	3,200
		一般財源	千円	41	89	500	89
	事業費	千円	1,511	3,289	3,700	3,289	

5. 令和 4年度の実績及び成果

(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
全国大会や九州大会等に出場した個人・団体に、下記のとおり補助金を交付した。令和 4年度の交付実績は、昨年度と比較して、交付件数が、65件(267%)増加した。 ・大会別の出場者数：九州大会 310人、全国大会 309人、計 619人 ・大会別の交付件数：九州大会 43件、全国大会 61件、計 104件 ・大会別の交付額数：九州大会 1,236千円、全国大会 2,464千円、計 3,700千円	全国大会や九州大会に出場した個人・団体に補助金を交付したことにより、出場者の励みになり、本市の競技スポーツの振興が図られた。

事務事業 番号	02455	事務 事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 全国、九州大会出場者の経費負担が軽減されることから、スポーツ活動の活性化に結びついている。市民が鹿児島県を代表して参加することは、青少年をはじめ多くの市民に夢や感動を与える。また、活力ある地域づくりを進めていくうえで、大きな意義があることから市が行う必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)							
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持				レ		
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持		拡 大	
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	当該制度の活用を促進するため、市ホームページや広報誌等により積極的な周知・広報に努める。また、運動部活動の地域移行に伴うクラブチームの補助の在り方について、学校教育課と協議する。						
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	中・長期的なスポーツ振興、競技力の向上等のためには、青少年の育成が重要であり、また、成績優秀な青少年が、家庭の経済的理由により、全国大会等出場の障害とならないよう、より手厚い支援が必要であることから、当該制度を認識していただけるよう市ホームページや広報誌への掲載、学校やスポーツ競技団体等への周知・広報を積極的に行う。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小
		維 持	拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02456	事務事業名	市スポーツ協会等運営支援事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)		担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進		グループ	スポーツ・文化グループ	
基本事業名	002	競技スポーツの推進		内線番号	3982	
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 昭和40年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(~)	
目	02	社会体育振興費		根拠法令・条等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 本事業は、市スポーツ協会への補助事業であり、協会が各種競技団体を統括し、一体となった活動を行うことで、競技力の向上と市民へのスポーツ意識の高揚を図ることを目的としている。事務書記1名。
 ・加盟団体数：34団体、会員数：約7,100人
 ・種目：陸上・水泳・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・柔道・バドミントン・弓道・ソフトボール・剣道・銃剣道・ハンドボール・全空連空手道・ゲートボール・テニス・ラグビーフットボール・グラウンドゴルフ・カヌー・ボウリング・ゴルフ・レクリエーション・パークゴルフ・少林寺流空手道・ソフトバレー・太極拳・防具付空手道・パワーリフティング・少林寺拳法・トランポリン・なぎなた 全34種目(R4年度末で、少林寺拳法が休会)
 職員は、監査、総会、地区大会、県大会に事務局員として参加している。

活動指標 (事務事業の活動量)		単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア	各競技団体による大会の開催	回	46	230	47	75
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア	市体育協会加盟団体	団体数	35	36	34	36
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)
ア	各競技団体の活性化を図る	回	5	4	4	4
イ	各競技団体の活性化を図る	加盟団体の加盟者数	7,435	9,000	7,109	9,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 年間を通して温暖な気候で全国有数の観光地でもある本市の特性を生かし、国内外を問わず、各種スポーツ団体のキャンプ等や各種大会を招致することにより、市の活性化や観光客の誘致によるスポーツ交流人口の拡大に努めます。
 また、トップアスリート選手によるスポーツ教室の開催など、各競技の底辺拡大や競技スポーツの向上に繋がる施策を展開します。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催を通して、市民の競技力向上や生涯にわたりスポーツ活動を継続できる環境づくりを目指します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 ・市民のスポーツ活動の機会提供及び競技スポーツの振興を図るため、競技団体 会員数の増加を図り、さらなるスポーツの発展に努める。
 ・競技団体の組織強化を図るための支援を行う。
 ・「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」に向けた協働体制を整えていくことが必要ことから、より一層の支援・協力・相互連携を図る。
 ・法人化に向けた検討・協議を引き続き行う。

4. 事業費の推移

事業費 投入量	財源内訳	単位	3年度 決算	4年度 当初予算	5年度 当初予算	6年度 計画
	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	16,636	18,541	15,404	5,631
事業費	千円	16,636	18,541	15,404	15,931	15,931

5. 令和 4年度の実績及び成果

(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>
 市民の体力向上・健康増進及び競技力向上を目指して活動している霧島市スポーツ協会へ事業負担金の交付を行った。同協会は、34の競技団体が加盟し、市民の健康・体力向上及びスポーツ振興を図るとともに、のべ47回の各種大会や育成大会を開催することにより、競技力の向上を図った。
 協会の更なる発展のために、加盟団体数の増加に努めているが、組織活動が難しい等を理由に、少林寺拳法連盟が令和 4年度末をもって休会した。

(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
 協会加盟団体に対して、組織活動のための運営補助金を交付するとともに、各加盟団体が実施する事業等に対して、大会や育成大会等補助金を交付した。大会や育成大会の開催数もコロナ禍以前に戻りつつあり、市民がスポーツをする機会の提供及び競技スポーツの振興が図られた。

事務事業 番号	02456	事務 事業名	市スポーツ協会等運営支援事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check)>		
A 目 的 妥 当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有 効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効 率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市スポーツ協会が開催する多数のスポーツ大会等は、市民へのスポーツの普及振興と競技スポーツの振興に寄与している。また、市と協働するスポーツ事業も担っており、継続的に支援していくことは必要である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan)> (組織決定)					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 令和 5年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	<ul style="list-style-type: none"> 市民へのスポーツ活動の機会提供及び競技スポーツの振興を図るため、競技団体や会員数の増加を図り、更なるスポーツの発展に努める。 競技団体の組織強化を図るための支援を行う。 「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が今年度開催されることから、加盟団体に対して、より一層の支援や協力を図るとともに、相互連携を深める。 引き続き、法人化に向けた協議・検討を行う。 				
(3) 令和 6年度の方向性 (具体的な取組)	<ul style="list-style-type: none"> 市民へのスポーツ活動の機会提供及び競技スポーツの振興を図るため、競技団体や会員数の増加を図り、更なるスポーツの発展に努める。 引き続き、法人化に向けた協議・検討を行う。 				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充			
		維 持			
		縮 小			
		休廃止（統合含む）			
			皆 減	縮 小	維 持
			コスト投入（予算）の方向性		
(2) 総評					

1. 基本情報						
事務事業番号	02457	事務事業名	国分運動公園・国分武道館管理運営事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3961
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~) 期間限定複数年度(令和 2年度 ~ 令和 6年度)
	款	10 教育費				
	項	07 保健体育費				
	目	03 社会体育施設費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市都市公園条例・霧島市営体育施設設管条例 霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
【施設の概要】所在地:霧島市国分清水309番地、施設及び開設日:国分体育館(昭和52年)、国分運動公園陸上競技場(平成8年)、国分球場(昭和51年)、庭球場(昭和51年)、多目的広場(平成5年)、多目的屋内運動場(平成11年)、国分武道館(昭和57年)、国分弓道場(昭和58年)、開館時間:8:30~22:00
【指定管理者】(株)エルグ・テクノ、指定期間:令和2年度~令和6年度
 *指定管理者制度は平成18年に導入され、現在4期目に入っている。

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 指定施設数	施設	8	8	8	8
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	12	30	15	30
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	12	30	15	30

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 市民	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370
イ						
ウ						
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	99	95	95	95
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	124,774	250,000	179,719	250,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。
 また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。
 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 ・国体開催を控え、大会会場や練習会場として利用されることから、不具合が生じている部分については施設、設備の修繕を行う。
 ・スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。

4. 事業費の推移		単位	3年度決算	4年度当初予算	4年度決算	5年度当初予算	6年度計画
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	51,625	53,643	56,420	57,955
事業費		千円	51,625	53,643	56,420	57,955	54,805

5. 令和4年度の実績及び成果

(1) 令和4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 56,419千円 【市の活動実績】 ・修繕料 10件 5,112千円 ・委託料 7件 2,435千円 ・備品購入 1件 2,265千円 ・改修工事 1件 契約額 124,300千円(R4:49,700千円) ・コロナ禍において、指定管理者と協働し利用者の安全を図りながら運営を行った。 ・指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情、改善点、連絡・報告事項等、密に連携を行った。	・利用者アンケートでは施設の総合的な印象において95.0%が「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」と回答し、昨年度と比較し、ほぼ横ばいであった。 ・適切な管理運営を行った結果、コロナウイルスによる大きな感染拡大などなかった。 ・指定管理者と密な連絡体制が図られていることで、施設の苦情や改善点など適宜見直されていた。

事務事業 番号	02457	事務 事業名	国分運動公園・国分武道館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありますか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充					
		維 持				レ	
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 令和5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	・国体開催を控え、大会会場や練習会場として利用されることから、不具合が生じている部分については施設、設備の修繕を行う。						
(3) 令和6年度の方向性（具体的な取組）	・霧島市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が更に安心・安全に利用できるよう、計画的に修繕を行う。						

8. 2次評価結果（担当部長評価）

			評価者	職・氏名		
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 性 (成 果)	拡 充				
		維 持				
		縮 小				
		休廃止（統合含む）				
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性						
(2) 総評						

1. 基本情報						
事務事業番号	02458	事務事業名	国分総合プール管理運営事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3961
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(令和 2年度 ~ 令和 6年度)	
	目	03 社会体育施設費		根拠法令・条等	霧島市営プールの設置及び管理に関する条例	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地：霧島市国分中央一丁目14番78号、施設(開設年)：屋内プール(H3)、屋外プール(H3)、開館時間：屋内プール及び屋外プール10:00~21:00
 【指定管理者】(株)エルグ・テクノ 管理期間：令和2年度~令和6年度

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	2	2	2	2
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	18	30	13	30
ウ 指定管理者による利用者確保のためのPR回数	回	18	30	13	30

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の 大きさを表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (見込)	令和 5年度 (見込)	令和 6年度 (見込)
ア 市民	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370
イ						
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の 達成度を表す指標)	単位	令和 3年度 (実績)	令和 4年度 (目標)	令和 5年度 (目標)	令和 6年度 (目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	90	95	86.50	95
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	32,086	65,000	36,065	65,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和 4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

・施設・設備の老朽化により不具合が生じている箇所について、本市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が安心・安全に利用できるような修繕を行う必要がある。
 ・スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。

4. 事業費の推移

事業費	単位	3年度 決算	4年度		5年度 当初予算	6年度 計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	43,288	43,108	46,117	43,108	43,108
事業費	千円	43,288	43,108	46,117	43,108	43,108

5. 令和 4年度の実績及び成果

(1) 令和 4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

【指定管理料実績】
 ・指定管理料実績 46,117千円

【市の活動実績】
 ・修繕料 6件 2,651千円
 ・委託料 2件 235千円

・指定管理者と協働し、利用者の安全を図りながら運営を行った。
 ・指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情、改善点、連絡・報告事項等、密に連携を図った。

(2) 令和 4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

・利用者アンケートでは施設の総合的な印象において86.5%が「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」と回答し、昨年度と比較しほぼ横ばいとなった。
 ・適切な管理運営を行った結果、コロナウイルスによる大きな感染拡大などなかった。
 ・指定管理者と密な連絡体制が図られていることで、施設の苦情や改善点など適宜見直されていた。

事務事業 番号	02458	事務 事業名	国分総合プール管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A: 継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B: 事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C: 事業の統合、休・廃止の検討	A	市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充					
		維 持				レ	
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 令和5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	・施設・設備の老朽化により不具合が生じている箇所について、本市のスポーツ活動の拠点施設として、市民が安心・安全に利用できるよう修繕を行う必要がある。						
(3) 令和6年度の方向性（具体的な取組）	水難事故を防止するために、指定管理者に施設管理を徹底してもらうと共に、定期点検等により、危険箇所の早期発見を心がけ、利用者の安全を確保する。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

			評価者	職・氏名			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充					
		維 持					
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持	拡 大	
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

1. 基本情報						
事務事業番号	02459	事務事業名	海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3961
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(令和3年度 ~ 令和7年度)	
	目	03	社会体育施設費		根拠法令・条例等 霧島市都市公園条例ほか	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市スポーツ振興計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】所在地：(国分海浜公園)霧島市国分下井2512番地(北公園)霧島市国分清水5丁目9番地39(南公園)霧島市国分上井183番地(児童体育館)霧島市国分広瀬2丁目34番地11(春山緑地公園)霧島市国分重久5550番地2 (開設日)：国分海浜公園(昭和58、59、62年、平成11年)、国分北公園(平成2年)、南公園(昭和58年)、児童体育館(昭和50年)、春山緑地公園(平成26年度) 開館時間：(国分海浜公園、北公園、南公園)8：30～22：00 (児童体育館)10：00～22：00 (春山緑地公園)8：30～18：30(10～3月は17：00まで)

【指定管理者】(一財)霧島市施設管理公社、指定期間：令和3年度～令和7年度

活動指標(事務事業の活動量)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 指定施設数	施設	11	11	11	11
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	4	6	6	6
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	4	6	6	6

(2) 事務事業の目的

対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 市民	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370
イ						
ウ						

意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」の割合	%	95	80	87	80
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	141,733	120,000	134,550	120,000
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)

地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

令和4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)

・経年劣化が懸念されるが、限りある予算のなかで、安全面、利用者ニーズ、法令等を把握の上、適切な優先順位の設定に努める。
 ・スポーツ庁から示された「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。
 ・国分海浜公園第1グラウンドの芝養生に係るメンテナンス方法を習得することで適正な芝管理を行えるよう努める。

4. 事業費の推移

事業費	単位	3年度	4年度		5年度	6年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	37,968	38,739	38,939	38,903	37,739
事業費	千円	37,968	38,739	38,939	38,903	37,739

5. 令和4年度の実績及び成果

(1) 令和4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【指定管理料実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料実績 38,938千円 <p>【市の活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 修繕料 2件 405千円 委託料 4件 718千円 <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と協働し、利用者の安全を図りながら運営を行った。 指定管理者と月1回月例報告打ち合わせを行い、施設利用状況、苦情、改善点、連絡・報告事項等、密に連携を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートでは施設の総合的な印象において87.0%が「期待した以上に良かった」「期待通りだった」「まあまあだった」と回答し、昨年度と比較して増加した。 適切な管理運営を行った結果、コロナウイルスによる大きな感染拡大などなかった。 指定管理者と密な連絡体制が図られていることで、施設の苦情や改善点など適宜見直されていた。

事務事業 番号	02459	事務 事業名	海浜・北・南公園・児童体育館管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			レ
		縮小			
		休廃止（統合含む）			
			皆減	縮小	維持 拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 令和5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	・経年劣化が懸念されるが、限りある予算のなかで、安全面、利用者ニーズ、法令等を把握の上、適切な優先順位の設定に努める。 ・国分海浜公園第1グラウンドの芝養生等に係るメンテナンス方法を習得することで適正な芝管理を行えるよう努める。				
(3) 令和6年度の方向性（具体的な取組）	指定管理者の蓄積された知識、技術等を活かすため、施設管理者との月例報告会（毎月）を設けるようにすることで、施設の修繕等の適切な優先順位を定めるため、利用者ニーズや競技団体の意見を把握する取組を行う。				

8. 2次評価結果（担当部長評価）					
			評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充			
		維持			
		縮小			
		休廃止（統合含む）			
			皆減	縮小	維持 拡大
		コスト投入（予算）の方向性			
(2) 総評					

1. 基本情報						
事務事業番号	02464	事務事業名	隼人運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3962
予算科目	会計 一般会計 10 教育費 07 保健体育費 03 社会体育施設費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~) 期間限定複数年度(令和 2年度 ~ 令和 6年度)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	霧島市営体育施設の設置及び管理に関する条例	
				関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
【施設の概要】所在地：霧島市隼人町内山田1丁目14番地16、施設及び開設日：隼人運動場(昭和44年)、隼人体育館(昭和45年)、隼人武道場(昭和55年)、隼人弓道場(平成14年)、開館時間：8：30～22：00						
【指定管理者】NPO法人隼人錦江スポーツクラブ、指定期間：令和2年度～令和6年度 *隼人運動施設管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在4期目。						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 指定施設数	施設	4	4	4	4
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	9	9	6	9
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	9	9	6	9

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 市民	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・期待通りだった」の割合	%	75	75	57	75
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	96,127	145,000	102,723	145,000
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。						

3. 前年度の評価表に記載した課題	
令和4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
施設の老朽化や不具合等も多数報告されており、今後も安全な施設運営をする上で、施設の維持補修費は増加すると考えられるので、引き続き指定管理者との連携を深め、適切かつ計画的な維持補修に努める。スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。	

4. 事業費の推移		単位	3年度決算	4年度当初予算	4年度決算	5年度当初予算	6年度計画
事業費投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	14,999	14,921	15,221	15,299
	事業費	千円	14,999	14,921	15,221	15,299	

5. 令和4年度の実績及び成果	
(1) 令和4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 15,220,580円 【市の活動実績】 ・修繕 1件 562千円 ・委託 1件 1,320千円 ・改修工事 1件 84,150千円(R4:33,000千円) ・指定管理者と連携し利用者の安全を図りながら運営を行った。	・利用者アンケートでは、「総合的な施設の印象」の項目で、「期待した以上に良かった・期待どおりだった」が57%で昨年度よりも減少した。 ・適切な管理運営を行った結果、コロナウイルスによる大きな感染拡大などなかった。 ・指定管理者と密な連絡体制が図られていることで、施設の苦情や改善点など適宜見直されていた。

事務事業 番号	02464	事務 事業名	隼人運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)							
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充					
		維 持				レ	
		縮 小					
		休廃止（統合含む）					
			皆 減	縮 小	維 持		拡 大
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	施設の老朽化や不具合等も多数報告されており、今後も安全な施設運営をする上で、施設の維持補修費は増加すると考えられるので、引き続き指定管理者との連携を深め、適切かつ計画的な維持補修に努める。						
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	安心安全な施設運営ができるよう指定管理者と連携して、必要な施設整備や備品整備を計画的に進めるとともに、多くの市民の方がスポーツを親しむことができるよう自主講座の充実を図る。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の 事 業 向 成 果 性 (成 果)	拡 充	
		維 持	
		縮 小	
		休廃止（統合含む）	
		皆 減	縮 小
			維 持
			拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

1. 基本情報						
事務事業番号	02465	事務事業名	隼人松永運動施設管理運営事業		担当部	市民環境部
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	スポーツ・文化振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	施設管理グループ
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3962
予算科目目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ	
	款	10	教育費		単年度繰返(開始年度 ~)	
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度(令和2年度 ~ 令和6年度)	
	目	03 社会体育施設費		根拠法令・条例等	霧島市営プール設置管理に関する条例等	
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市スポーツ振興計画・霧島市公共施設マネジメント計画

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
【施設の概要】所在地:(霧島市隼人庭球場・隼人健康温水プール)霧島市隼人町松永1678番地1、(隼人温水プール)霧島市隼人町松永二丁目80番地 施設及び開設日:霧島市隼人庭球場(平成15年寄附)、隼人健康温水プール(平成16年)、隼人温水プール(昭和44年) 開館時間:隼人庭球場8:30~21:00、隼人健康温水プール・隼人温水プール10:00~21:00						
【指定管理者】NPO法人隼人錦江スポーツクラブ、指定期間:令和2年度~令和6年度 *隼人松永運動施設管理運営事業の指定管理者制度は平成18年に導入され、現在4期目。						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 指定施設数	施設	3	3	3	3
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	4	6	4	6
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	4	6	4	6

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)	令和6年度(見込)
ア 市民	人口	人	123,066	123,639	124,112	123,370
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和3年度(実績)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)	令和6年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「期待した以上によかった・期待どおりだった」の割合	%	80	82	73	85
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	32,275	45,000	30,742	45,000
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。 また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。						

3. 前年度の評価表に記載した課題	
令和4年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
施設の老朽化が進み、施設の設備に不具合が見られるため、指定管理者と協議のもと、優先順位を検討しながら施設の補修を進めていきたい。スポーツ庁の「感染拡大予防ガイドライン」に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大予防に努める。	

4. 事業費の推移		単位	3年度決算	4年度当初予算	4年度決算	5年度当初予算	6年度計画
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	25,025	24,585	24,845	24,638
事業費		千円	25,025	24,585	24,845	24,638	24,638

5. 令和4年度の実績及び成果	
(1) 令和4年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和4年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 24,845,000円 【市の活動実績】 ・修繕 1件 203千円 ・指定管理者と連携し利用者の安全を図りながら運営を行った。	・利用者アンケートでは施設運営の満足度において73%が「期待した以上によかった・期待どおりだった」と回答し、昨年度と比較して減少した。 ・適切な管理運営を行った結果、コロナウィルスによる大きな感染拡大などなかった。 ・指定管理者と密な連絡体制が図られていることで、施設の苦情や改善点など適宜見直されていた。

事務事業 番号	02465	事務 事業名	隼人松永運動施設管理運営事業	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A
		理由 市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して取り組むことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)					
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持			レ
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	施設の老朽化が進み、施設の設備に不具合が見られるため、指定管理者と協議のもと、優先順位を検討しながら施設の補修を進めていきたい。				
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	隼人温水プールは昭和44年に建設され約50年が経過しており、施設の老朽化が激しい。また屋根や外壁がスレート材のため、冬になると室温及び水温の維持ができないため、非常に寒く利用者からも改善を求める声が多い。また施設を支える鉄骨についても、サビや腐食が進んでいる。今後の施設のあり方について市の公共施設管理計画との整合性を図りながら検討を行う。				

8. 2次評価結果（担当部長評価）					
			評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
		維 持			
		縮 小			
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評					

1. 基本情報							
事務事業番号	02467	事務事業名	体育施設維持管理事業（指定管理者以外）		担当部	市民環境部	
政策名	004	はぐくみ（社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり）			担当課	スポーツ・文化振興課	
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	施設管理グループ	
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	3962	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	単年度のみ		
	款	10	教育費		単年度繰返（開始年度	平成17年度	～
	項	07	保健体育費		期間限定複数年度（	～	）
	目	03	社会体育施設費	根拠法令・条例等			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）						
スポーツ・文化振興課及び各総合支所地域振興課が所管する施設のうち、指定管理者制度を導入していない市の直営施設の管理運営と、市が行わなければならない1件あたり10万円（消費税含む）以上の修繕を行う事業。 65施設。 【事務事業の流れ】 4月下旬までに各所管課より修繕依頼を提出 5月中旬までに各施設の修繕要望箇所を把握。必要に応じて現地調査。 5月中旬までに優先順位を付して、各地区担当者へ予算配当 各地区において修繕の執行						
活動指標（事務事業の活動量）						
	活動指標	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（見込）	令和5年度（見込）	令和6年度（見込）
ア	修繕を実施した件数	件	61	45	39	45
イ	購入した備品の件数	回	24	15	3	15
ウ						
(2) 事務事業の目的						
対象（誰、何を対象にしているのか）	対象指標（左記対象の大きさを表す指標）	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（見込）	令和5年度（見込）	令和6年度（見込）
ア 市民	人口	人	123,066	123,639	122,926	123,370
イ						
ウ						
意図（対象をどうしたいのか）	成果指標（左記意図の達成度を表す指標）	単位	令和3年度（実績）	令和4年度（目標）	令和5年度（目標）	令和6年度（目標）
ア 施設を閉館する	閉館した施設数	件	0	0	0	0
イ 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「良かった・どちらかといえば良かった」「まあまあだった」の割合	%	91	90	90.90	90
ウ						
(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針（総合計画より）						
地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。 また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。						

3. 前年度の評価表に記載した課題		4. 事業費の推移							
令和4年度の改善改革の内容（取り組むべき課題）		単位	3年度決算	4年度当初予算	5年度当初予算	6年度計画			
施設の老朽化、今後の過重な更新・改修コストの負担、環境要因（人口・利用者ニーズ等）の変化及び財政健全化などの課題に対処するため、「霧島市公共施設管理計画」及び「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」（平成30年3月スポーツ庁策定）に基づき「霧島市社会体育施設長寿命化計画」を令和5年度に策定する。		国庫支出金	千円	0	0	5,946	0	0	
		県支出金	千円	1,399	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	95,562	7,398	193	15,405	0	0
		一般財源	千円	183,459	40,055	180,964	42,726	42,075	42,075
		事業費	千円	280,420	47,453	187,103	58,131	42,075	42,075

5. 令和4年度の実績及び成果	
(1) 令和4年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和4年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>
【直営施設実績】 ・11施設 【10万円以上の修繕実績】 ・39件 14,009千円 【備品購入及び公有財産の実績】 ・1件 3,630千円（公有財産） ・3件 2,338千円（備品）	・39件の修繕を実施し、利用者の安全、安心な利用環境を提供でき、長寿命化策が図られた。 ・4件の備品購入（公有財産含む）を実施し、大会等で利用する備品の充実を図り、老朽化した備品の改善を行ったことで、スムーズな大会運営が遂行された。 ・直営施設については、地域活動での利用が多く、利用状況に即した事務手続きを運用したことで、地域住民の利便性を図ることができた。

事務事業 番号	02467	事務 事業名	体育施設維持管理事業（指定管理者以外）	担当部	市民環境部
				担当課	スポーツ・文化振興課

6. 振り返り <SEE (check) >			
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である	
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である	
	結びついていない	見直す必要がある	
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？	
	向上する余地はかなりある	影響がある	
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある	
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない	
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	
	削減できない	削減できない	
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある	
	削減できる	削減できる	
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	公平・公正である		
	見直す必要がある		
総合評価判定基準		総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A	市民がスポーツを行うための施設であり、施設を適切に管理することは市の責務であるため、今後も継続して維持管理及び修繕を行うことが適当である。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)							
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持					レ	
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持			拡 大
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 5年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	施設の老朽化、今後の過重な更新・改修コストの負担、環境要因（人口・利用者ニーズ等）の変化及び財政健全化などの課題に対処するため、「霧島市公共施設管理計画」及び「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」（平成30年3月スポーツ庁策定）に基づき「霧島市社会体育施設長寿命化計画」を令和5年度に策定する。						
(3) 令和 6年度の方向性（具体的な取組）	「霧島市社会体育施設長寿命化計画」に基づき、今後の社会体育施設の方向性を個別施設毎に定める。						

8. 2次評価結果（担当部長評価）		評価者	職・氏名
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充	
	維 持		
	縮 小		
	休廃止（統合含む）		
		皆 減	縮 小
			維 持
			拡 大
		コスト投入（予算）の方向性	
(2) 総評			

